

9. 京田辺市の建造物調査

宮田 匡

1. 概要

京田辺市では2017年から市史編さん事業を行っており、資料編として建造物・美術工芸をとりあげる予定である。

今年度は昨年度に引き続き、市史で取り上げる寺社・民家の詳細（二次）調査を行った。詳細（二次）調査とは、悉皆（一次）調査で把握した地区内の建造物のうち、地域・時代的な特徴をもつ建造物を抽出し、調査票や平面図などの図面を作成し、写真撮影などを行う調査である。

2. 調査内容

以下の日程・参加者で二次調査を実施した。

日程 2022年7月22日（金）、9月16日（金）、9月29日（木）、10月19日（水）、11月10日（木）

参加者 岸泰子（京都府立大学文学部歴史学科准教授）、登谷伸宏（京都工芸繊維大学准教授、京田辺市史編さん美術工芸・建造物部会員）、花尻千秋（文学研究科史学専攻博士前期課程1回生）、宮田匡（同1回生）、川西優帆（歴史学科4回生）、松岡茉陽流（同4回生）、大串香織（同3回生）、鈴木綾音（同3回生）、鈴木優花（同3回生）、林田実佳（同3回生）、橋本唯（同2回生）、京都工芸繊維大学大学院生2名

対象はビオ多々羅・Y家住宅茶工場・天神社・白山神社・安楽寺・月読神社・須賀神社・N家住宅・K家住宅・極楽寺・K家住宅・A家住宅である。建造物の調書作成、実測（平面図・断面図・配置図作成）、写真撮影などを行った。

また現在、現地で作成した図面を基に清書を行っている。



写真 須賀神社本殿（岸泰子撮影）

編集後記

フィールド集報は、刊行当初より Adobe 社の InDesign を利用して組版作業を手作りでおこなっている。InDesign の取り扱いは、歴史学科文化遺産学コースのうち、考古・建築・地理の実習メニューに含まれ、本書の一部については、そうした実習のなかで学生が組んだものとなっている。

今年度のフィールド調査においても、各地で多くの方からのご理解とご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。歴史や文化遺産にかかる調査は一人では決して成しえないということを、今後も常に意識するように努めたい。(う)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第9号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2023年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
